福音はサマリヤへ

2026.11.25
聖書に学ぶ A-7
使徒の働き 8:4～25

エルサレム教会の執事の一人、ステパノが殉教の死を遂げるという大変な出来事の後、本格的な迫害が始まり、使徒以外の信徒たちは各地に散らばって行きました。

しかしその困難は、全世界への福音の宣教拡大につながっていきました。そして今度は、御霊と知恵に満ちた評判の良い執事の中の一人、忠実なピリポが用いられていきます。

今日の学びの要点

主の福音は、妨げられ、場所を移すようになっても、主の霊に満たされた忠実な主のしもべが伝えるなら、どこであっても広がって行くことができます。
また、他の宗教に入っていても、それを止め、捨てて、悔い改めるなら、主イエス・キリストによって救われることができます。

Ⅰ、サマリヤ伝道　（使徒の働き 8:4～17）

1、ピリポは使徒ではありませんでしたが、みことばを宣べ伝えながら、巡り歩き、サマリヤに福音を伝えました。

①サマリヤの人たちは信じて、バプテスマを受けましたが、どのような経緯でそうなったのでしょうか。

1.ピリポの話を聞いていた　(v5~6)
↓
2.主イエスの名によって、ピリポが行ったしるしと奇跡を見た(v7~8)
↓
3.それで、ピリポの語ることに、更に耳を傾けた(v12)
↓
4.そして信じて、バプテスマを受けた(v12)

②ピリポや使徒たちは、サマリヤの人々に何をどのように宣べ伝えたのでしょうか。この話の中に、6 つの言い方があります。探してみましょう。

(v4)＿＿＿＿　(v5)＿＿＿＿　(v12)＿＿＿＿＿＿　(v14)＿＿＿＿　(v25)＿＿＿＿＿＿

2、ペテロとヨハネは誰によって、神のことばを受け入れたサマリヤの人々の所に遣わされたのでしょうか。（使徒の働き 8:14）

3、洗礼を受けていたサマリヤの人々に、ペテロとヨハネが手を置いて祈ると、彼らは聖霊を受けました。魔術師シモンにどうしてそれが分かったのでしょうか。(使徒の働き 2:4)

Ⅱ、魔術師シモンのまちがい　（使徒の働き 8:9～24）

1、魔術師シモンと、ピリポの違いは何でしょうか。

①魔術師シモンは…　悪の霊によって不思議な事を行う（例､出エジプト 7:11＝エジプトの呪術者）

・何をもって、人の心を引きつけていましたか。(v9)

・魔術師シモンは何に人々の目を向けさせていましたか。(v10)

②ピリポは…　イエス･キリストの十字架による罪の赦し、復活されたキリストの内住による力

・何をもって、人の心を引きつけたのでしょうか。(v7)

・ピリポは何に人々の目を向けさせたのでしょうか。(v5)

2、魔術師シモンも、みことばを信じて洗礼をうけましたが、彼の心には、問題がありました。彼はどういう者だったでしょうか。

①お金で神の賜物を手に入れようとした。(v18~19)・・・神様に関して、無知

②神の前に正しくない → 神様の賜物と何の関係もない、受けることもできない(v21)

③苦い悪意と不義の束縛の中にいる。(v23)

※新共同訳では、「腹黒い者、悪の縄目に縛られている者」

3、魔術師シモンは主に受け入れられるために、どうすればよいのでしょうか。(v22、Ⅰヨハネ 1:9)